



岐阜盲学校キャラクター「あいパンダ」

# アイアイ通信

NO. 4

見え方の相談支援センター アイアイ教室 令和6年12月18日  
(岐阜盲学校内)

早いもので、2024年もあと少しとなりました。秋になっても暖かい日が続いたので、紅葉の見頃もずいぶん遅くなりましたが、ちゃんと冬はやってきて「寒い、寒い」とふるえる今日この頃です。12月7日(土)に盲学校の文化祭が行われ、各学部や部活動などの団体ごとにステージ発表を行いました。日頃の学習の成果を見ていただく良い機会になりました。この日の午後は岐阜ロータリークラブ様のご招待で岐阜交響楽団によるクリスマスコンサートに出かけ、一足早くとても素敵なクリスマスプレゼントをいただきました。

盲学校は25日が終業式で、1月7日まで冬休みです。1月8日に3学期の始業式を行い、アイアイ教室は1月9日から再開します。3学期も明るく元気な子どもたちと、にぎやかに活動できることを楽しみにしています。

## 11月～12月のアイアイ教室



大好きな「ゆらんこ」で満足するまで揺らしてもらった後は、使った布をお片付け。たたんで、丸めて、棚まで運びます。初めのうちは教員と一緒に、だんだん覚えて一人でできるようになり、進んでやってくれるようになります。



11月13日に理学療法士(P.T)の先生が来校されました。アイアイ教室の子どもたちが活動する様子を参観され、保護者の方や教員にアドバイスをしてくださいました。今後のアイアイ教室での活動内容に活かしていきます。また、3学期にもこのような機会をもつ予定です。



「ビー玉おとし」の課題に取り組んでいます。板に乗っているビー玉を、指先を使ってギュッと押し込むとポトンと下に落ちます。ビー玉をしっかり見て指先の動作と協応させることや、ギュッと押し込む操作が上手になってきました。

## \*\*\*「見え方の相談支援センター」から\*\*\*

今回は、「弱視の幼児に「見えている？」と聞くと「見えている」と答える」ということについて、『視覚障害乳幼児の子育てハンドブック』から、抜粋してお伝えします。

時々「見えていると言うのでたぶん大丈夫だと思います」と療養現場の関係者や保護者の方から言われる場合もありますが、他の人の見え方との違いなどは、経験できないので見えにくさを比較できない中で、聞かれると答えてしまっているとも考えられます。一度見え方を疑似体験できるシミュレーションレンズなどで、お子様と同様な見え方をぜひ体験されることをお勧めします。また、よく転んだり、ぶつかったりする場合には、周囲の状況を事前によく伝えるとともに、視野の面からも支援方法を考えていく必要があります。眼科受診の際、状況を医師にお伝えください。

出典：『視覚障害乳幼児の子育てハンドブック』 杉山利恵子、森栄子 編著

見え方の相談支援センターでは、お子様の見え方についての相談に応じるとともに、実際にそのお子さんがどんなふうに見えているのかを体験していただくこともしています。全く同じ状態を再現することは難しいのですが、視野が狭い状態やぼやけてはっきり見えないけれど何となく見える状態などを体験し、どのような困難さがあるかなどを知っていただいています。お気軽にお問い合わせください。

## 1月～3月のアイアイ教室開催日

### 1月の予定



水曜日・・・22日（PT来校）、  
29日  
木曜日・・・9日、16日、23日、30日

### 2月の予定



水曜日・・・5日、12日、19日、26日  
木曜日・・・6日、20日、27日

### 3月の予定



水曜日・・・5日、19日  
木曜日・・・6日、13日

※原則水・木曜日の10時50分～12時30分に行っています。

※アイアイ教室開催日は変更することがあります。参加される場合は、必ず事前にご確認いただき、参加される旨を連絡してください。お願いいたします。



見え方の相談支援センター(岐阜盲学校内)  
電話番号：058-262-1271  
担当：塩田・高橋